

# 授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名)  こどもの生活と人間関係	授業の種類  ( 講義・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">演習</span> ・ 実習 )	授業担当者  柳田 真理子	当該科目に関する実務経験  保育士
授業の回数 15回	時間数 (単位数) 30時間 (1単位)	配当学年・時期 2年・前期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育内容「人間関係」について、その内容と具体的な指導法を理解する。子どもの目線に立った人間関係の構築とその指導法を習得する。それらを通して、保育現場における洞察力・課題発見能力、更には自己の人間関係形成力を高めることを目指す。</li> </ul> [授業全体の内容の概要] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園生活における様々な乳幼児の人間関係に関する知識を学び、保育内容「人間関係」のねらい・内容について理解する。併せて、具体的な保育実践事例を通して、保育者の実践的な援助の在り方について理解を深める。</li> </ul> [授業終了時の達成課題 (到達目標)] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所保育指針における「人間関係」のねらい・内容を理解する。</li> <li>・ 乳幼児の様々な「人間関係」の育ちや芽生えについて、発達の観点から総合的に理解する。</li> <li>・ 乳幼児の人間関係に関する保育事例を通して、保育者としての具体的・実践的な援助方法について考察できる力を身に付ける。</li> </ul>			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 1. 第1章 保育内容「人間関係」に求められること 2. ①子どもとかかわりながら「育てる人」へと転換する ②現在の保育の枠組みから考えよう ③子どもの世界を感じよう 3. ④保育者としての感覚を磨こう ⑤豊かな保育の現場を思い描こう 4. 第2章 生涯にわたる「人間関係」 ①生涯を通じた「人間関係」の原理とその発達 ②乳幼児期の「人間関係」 ③人間関係の発達を支える心理劇 5. 第3章「人間関係」演習ーあなたならどうしますかー ①仲間入りを巡る人とかかわり ②人との信頼関係 6. ③けんかやいざこざから生まれるもの 7. ④片づけと人間関係 8. ⑤遊びと人とのつながり 9. ⑥言葉がつなげる人間関係 10. ⑦気になる子どもと他児とのつながり 11. ⑧保護者支援と保育者の役割 12. ⑨地域・関係機関との連携 13. ⑩園内の人間関係と保育者の自分磨き 14. まとめ 15. 期末試験			
[使用テキスト・参考文献] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育内容 人間関係 (萌文書林)</li> <li>・ 最新保育講座 8 保育内容「人間関係」(ミネルヴァ書房)</li> </ul>			
[成績評価の方法と基準] 教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考查点(75%)                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。</li> </ul> </li> <li>・ 平常点(25%)                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。</li> <li>・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。</li> </ul> </li> </ul>			